

■第3回陸奥の国のまちづくりワークショップ 意見のまとめ 緑グループ

	現況の問題点	将来のイメージ	整備・保全・改善の考え方
商業		<ul style="list-style-type: none"> ○商業は、中央のように集まり易いところに集まるのが一般的である（次頁の図中のA） ○自動車を利用した商業地にならざるを得ない 	<ul style="list-style-type: none"> ○まちづくり三法を活用し、旧田名部地区の中心市街地の活性化を図る ○白地地域については、規制することも考えられる
工業	<ul style="list-style-type: none"> ○旧田名部川の砂防ダムで川の流れが悪く、水質が悪化しているので、湾の環境も考えるべきである ○湾の改良等を行う場合は、水質等の環境を考えてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ○原子力の保守等の原子力関係の企業を誘致するべきである ○関根浜の海洋観測船を下北埠頭に移動させる ○自衛隊を利用し、港湾を活用したいが、現状の港湾だと浅いので、浚渫<small>しゅんせつ</small>等を行い大型船が入れるようにする 	
第一次産業	<ul style="list-style-type: none"> ○熊、猿、鹿などによるレタスへの被害が拡大している ○漁業が衰退している ○良い浜があるが、水が汚い 	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでの「マイナス思考」を「プラス思考」に変える必要がある ○脇野沢には大手の水産企業を誘致する（漁業の工業化） ○漁業の株式会社化が必要である ○畜産業の大手の企業を誘致する ○林業のチップ工業を考える ○耕作放棄地を活用する 	<ul style="list-style-type: none"> ○農業と商業の連携を図り、地域のものを地域で生産⇒配給⇒消費といったサイクルシステムを考える ○林業の活性化を図るため、間伐事業を活用する
観光	<ul style="list-style-type: none"> ○下北は秘境が売りになっている ○大畑地区に宿泊施設がない ○道路整備が行われると観光客は、宿泊せずに通過してしまう 	<ul style="list-style-type: none"> ○下北の食材を利用した観光産業を育成していく ○宿泊客のターゲットを安いもの目当ての宿泊客から、良いのだと高くてもよいと思っている宿泊客に変える ○少年自然の家を観光施設として開放する ○あわび取り等のめったにできない体験を有料化する 	<ul style="list-style-type: none"> ○旧放牧地であった人切山を保全する

産業のための交通

- 幹線となる道路は必要である
- 公共交通の利便性を向上できる仕組みを考える

むつ都市計画図

